



ハーバーフリープログラム

実施報告書

ハーバーフリーデー in 横浜

- タイトル ハーバーフリープログラム “ハーバーフリーデー in 横浜”
- 開催日程 2018年8月4日(土)・5日(日)
- 開催時間 10:00～17:00
- 会 場 みなとみらい21地区 臨港パーク 前面
- 参加対象 小学生以上（種目により参加制限あり）
- 参加費 無料
- 内 容 横浜港の普段開放されていないエリアを一般開放し、海と日本PROJECTが推進する5つのアクションの1つ“海を体験しよう！”を具現化。
小学生以上を対象とした海のスポーツ体験できる参加型プログラムの実施。

 - <体験型コンテンツ>
 - ・SUP（スタンドアップパドルボード）
 - ・レクリエーションカヤック
 - ・ミニボート
 - ・水上バイク
 - ・給スイカステーション
 - ・レスキュー体験
 - その他、海上保安庁ブース など
- 主 催 日本財団「海と日本プロジェクト」
企画・運営 ハーバーフリープログラム実行委員会
- 協 力 海上保安庁
- 運営協力 横浜港ボート天国推進連絡協議会
神奈川県セーリング連盟
シーバードジャパン
関東小型船安全協会

SUP - スタンドアップパドルボード

内 容	サーフボードの上に立ち、パドルを使って漕ぎながら進むSUPを体験		
実施時間	① 10:00-11:00	② 11:00-12:00	③ 13:00-14:00 ④ 14:00-15:00 ※両日
参加資格	小学校3年生以上		
使用艇数	参加者用…10艇 スタッフ用…2艇、ゴムボート…1	スタッフ数	インストラクター4名 (海上2,陸2)

□ 運営フロー・詳細

① 受付

- ・総合受付にて参加整理券配布
- ・同意書の記入

② 移動

- ・必要に応じて着替え～プログラム実施エリアまでスタッフの誘導により移動
→初めに陸でレクチャー実施
- ・ライフジャケット着用

③ スタート

- ① 草地にてSUPの乗り方等講習を行う (約15分間)
- ② 仮設栈橋にて5名はSUPに乗り、5名はボートに乗船し体験海域に移動 ～ 開始
- ③ 15分経過で残り5名と交代
- ④ SUPに乗ったまま栈橋に戻る (最初に実施した5名はボードにて栈橋に戻る)

④ 終了

- ・ライフジャケット返却
- ・着替え ～ 終了



レクリエーションカヤック

内 容	カヤックに乗り、パドルを使って水上をゆっくり進みながら海からみた横浜の景色を楽しむ		
実施時間	① 10:00-11:00 ③ 13:00-14:00	② 11:00-12:00 ④ 14:00-15:00	※両日
参加資格	小学校3年生以上		
使用艇数	参加者用…17艇 スタッフ用…5艇	スタッフ数	インストラクター10名 (海上5,陸5)

□ 運営フロー・詳細

① 受付

- ・ 総合受付にて参加整理券配布
- ・ 同意書の記入

② 移動

- ・ 必要に応じて着替え～プログラム実施エリアまでスタッフの誘導により移動
→初めに陸でレクチャー実施
- ・ ライフジャケット着用

③ スタート

- ① インストラクターより競技説明 (陸上にて実施)
- ② 海上実施エリアに移動

④ 終了

- ・ ライフジャケット返却
- ・ 着替え ～ 終了



ミニボート

内 容	スタッフの操縦するミニボートに乗りエリア内を周遊。		
実施時間	10:00-12:00、13:00-15:00 随時実施 ※1回につき10分程度		
参加資格	小学校3年生以上		
使用艇数	参加者用…4艇 スタッフ他用…1艇	スタッフ数	インストラクター4名

□ 運営フロー・詳細

① 受付

・総合受付にて同意書の記入 ※参加整理券なし

② 移動

・必要に応じて着替え～ライフジャケット着用
・スタッフの誘導により仮設栈橋へ移動

③ スタート

① 乗船し、体験海域へ移動
② 海域内で操縦体験（約5分）

④ 終了

・ライフジャケット返却
・着替え ～ 終了



水上バイク

内 容	新港埠頭までのコースを周遊		
実施時間	① 10:00-10:30	② 11:00-11:30	③ 13:00-13:30 ④ 14:00-15:30 ⑤ 15:00-15:30 (⑤は8/4のみ)
参加資格	小学校3年生以上		
使用艇数	4台 (体験用2 救助用2)	スタッフ数	4日9名 5日11名

□ 運営フロー・詳細

① 受付

- ・ 総合受付にて参加整理券配布
- ・ 同意書の記入

② 移動

- ・ 必要に応じて着替え～ライフジャケット着用
- ・ スタッフの誘導により仮設栈橋へ移動

③ スタート

- ① インストラクターより競技説明
- ② 乗船
- ③ 徐行水域、巡航水域、滑走水域を体験

④ 終了

- ・ ライフジャケット返却
- ・ 着替え ～ 終了



給スイカステーション

内 容	夏のアクティビティには「給スイカを！」を合言葉に、来場者にカットスイカのサンプリング等を行い、スイカを楽しんでもらいつつ、熱中症予防など、スイカの多様な効果効能を啓発し、市民の健康や安全に寄与するために「給スイカ」を呼びかける。
実施時間	10:00-17:00
参加資格	イベントエリア来場者
スタッフ数	運営スタッフ 3P4名にて対応



海上保安庁ブース

内 容	海の事故に関するチラシ配布・啓発活動
実施時間	10:00-17:00



レスキュー体験 (ペットボトルを用いたCPR講習)

内 容	ペットボトルを活用したCPR (心配蘇生) 講習		
実施時間	①11:00~12:30 ②13:30~15:00		
参加条件	小学生以上対象	スタッフ数	インストラクター4名
スケジュール	<div style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">①受付</div> <p>1組目/11:00~ 2組目/11:30~ 3組目/12:00~ 4組目/13:30~ 5組目/14:00~ 6組目/14:30~</p>	<div style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">②レクチャー</div> <p>1組目/11:10~ 2組目/11:40~ 3組目/12:10~ 4組目/13:40~ 5組目/14:10~ 6組目/14:40~</p>	<div style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">③実技体験</div> <p>1組目/11:15~11:30 2組目/11:45~12:00 3組目/12:15~12:30 4組目/13:45~14:00 5組目/14:15~14:30 6組目/14:45~15:00</p>

タイムスケジュール

4日	5日
10:00 準備	10:00 準備
11:00 60 ①	11:00 60 ①
12:00 60	12:00 60
13:00 60 ②	13:00 60 ②
14:00 30	14:00 30
14:30 60 ③	14:30 60 ③
15:00 撤収	15:00 撤収
16:00	16:00





海のおしごと体験プログラム

- タイトル ハーバーフリープログラム “海のおしごと体験プログラム”
- 開催日程 2018年8月4日(土)・5日(日)
- 内 容 海と日本PROJECTが推進する5つのアクション
 1. 海を学ぼう!
 2. 海をキレイにしよう!
 3. 海を味わおう!
 4. 海を体験しよう!
 5. 海を表現しよう!
 を体験・学習できる2日間の事前募集型プログラムを実施
- 開催場所 海上保安庁 横浜海上防災基地（横浜市中区新港1-2-1）
横浜市中央卸売市場（横浜市神奈川区山内町1）
京急油壺マリンパーク（三浦市三崎町小網代1082）
城ヶ島灯台（三浦市三崎町城ヶ島）
- 主 催 日本財団「海と日本プロジェクト」
企画・運営 ハーバーフリープログラム実行委員会
- 参加者 小学校5・6年生 ※保護者同伴、1家族につき1名
- 参加人数 6媒体各10名 計60名 ※保護者は含まず
- 募集方法 下記メディアより各10名の参加者を募集
 - <テレビ局>
千葉テレビ、テレビ神奈川、テレビ埼玉、TOKYO MX
 - <ラジオ局>
FMヨコハマ
 - <その他>
子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」

市場のおしごとを学ぶ ～ 昼食

実施日時	8/4(土) 9:00-12:00	ご担当者	横浜中央卸売市場 坪倉
内容	・ 市場おしごとを学ぶ (座学、マグロの解体見学、場内見学) ・ 昼食		
スケジュール	<p>09:00 開講式 (司会 : HDYSM内海)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主催ご挨拶 (日本財団 : 海野常務理事) ・ 司会より本日のスケジュール案内、注意事項 ・ 保護者への説明 <p>09:10 講座『市場おしごとを学ぶ』 @水産棟5F 研修室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市場のおしごとについて、煮干しの解剖、煮干しの標本づくり 等 (保護者は1Fに移動し、場内自由行動) <p>10:00 疑似セリ体験 @水産棟1F マグロセリ場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セリの疑似体験 <p>10:30 マグロの解体 @水産棟1F マグロセリ場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マグロの解体見学 (保護者は終了予定の10:50にマグロせり場に集合) <p>10:50 移動 (センタービル3Fへ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者と合流し、せり場から東門を抜けて連絡橋に上りセンタービルへ移動 <p>11:00 昼食 (鉄火丼、アオサの味噌汁)</p> <p>@センタービル3F 研修室(参加者親子)※他は隣の調理室(土足厳禁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 当日朝、レイアウト設置を運営スタッフにてサポート ※ 配膳は運営スタッフにて対応 <p>12:00 バスへ移動～乗車～正門から退場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡橋を渡り、駐車場2F入り口へ移動し、各バスへ乗車 (千葉テレビは別場所) 		
誘導スタッフ	座学後、60名2グループにて移動。1グループ2名 計4名スタッフ配置 (市場スタッフの誘導補佐)		



工作船資料館見学

実施日時	8/4(土) 12:50-13:15 / 14:40-15:05	ご担当者	海上保安庁 藤井
集合場所	防災基地		
内容	・国内で発生した工作船事件における工作船及び回収物など見学 (保護者は自由行動)		
車両関係	バス進入可否：○ バス駐車場有無：有 駐車場：関係者・メディア・・・既存駐車場 バス・・・海保の前の通路の左車線 ※入口に運営スタッフ配置		
グループ分け	12:50-13:15 A,B,C班 (TOKYO MX、FMヨコハマ、テレビ神奈川) 14:40-15:05 D,E,F班 (千葉テレビ、いこーよ、テレビ埼玉)		

巡視船“ひりゅう”を学ぶ

実施日時	8/4(土) 13:40-15:00 / 15:40-17:00	ご担当者	海上保安庁 藤井																								
集合場所	防災基地																										
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視船“ひりゅう”の体験乗船 ・放水訓練など 																										
スケジュール ・ 構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[前半]</th> <th>[後半]</th> <th>[進行プログラム]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12:30</td> <td></td> <td>防災基地着～海保職員でバス誘導～工作船資料館まで案内</td> </tr> <tr> <td>13:30</td> <td>15:30</td> <td>陸上で救命胴衣・ヘルメット着用乗船～甲板にて出港作業見学</td> </tr> <tr> <td>13:40</td> <td>15:40</td> <td>出航</td> </tr> <tr> <td>14:00</td> <td>16:00</td> <td>放水見学① (15名) 他メンバーは控室にておしごと説明</td> </tr> <tr> <td>14:20</td> <td>16:20</td> <td>放水見学② (15名) 他メンバーは控室にておしごと説明</td> </tr> <tr> <td>14:40</td> <td>16:40</td> <td>甲板にて入港作業見学</td> </tr> <tr> <td>15:00</td> <td>17:00</td> <td>下船～救命胴衣・ヘルメット回収～移動</td> </tr> </tbody> </table>	[前半]	[後半]	[進行プログラム]	12:30		防災基地着～海保職員でバス誘導～工作船資料館まで案内	13:30	15:30	陸上で救命胴衣・ヘルメット着用乗船～甲板にて出港作業見学	13:40	15:40	出航	14:00	16:00	放水見学① (15名) 他メンバーは控室にておしごと説明	14:20	16:20	放水見学② (15名) 他メンバーは控室にておしごと説明	14:40	16:40	甲板にて入港作業見学	15:00	17:00	下船～救命胴衣・ヘルメット回収～移動	<p>【補足、注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者は乗船できないため、陸上にて待機 (自由行動・・・赤レンガ倉庫など) ・出入港時、船員が大きな声で注意喚起などを行うので、スタッフは子ども達に注意促す。 ・1回で乗船できるのは、子ども・付き添い含め40名程度 ・放水は、沖合の瑞穂埠頭で実施 (操舵室内で見学) ・サンダル、ハイヒールでの乗船はNG 	
[前半]	[後半]	[進行プログラム]																									
12:30		防災基地着～海保職員でバス誘導～工作船資料館まで案内																									
13:30	15:30	陸上で救命胴衣・ヘルメット着用乗船～甲板にて出港作業見学																									
13:40	15:40	出航																									
14:00	16:00	放水見学① (15名) 他メンバーは控室にておしごと説明																									
14:20	16:20	放水見学② (15名) 他メンバーは控室にておしごと説明																									
14:40	16:40	甲板にて入港作業見学																									
15:00	17:00	下船～救命胴衣・ヘルメット回収～移動																									
グループ分け	13:40-15:00 A,B,C班 (TOKYO MX、FMヨコハマ、テレビ神奈川) 15:40-17:00 D,E,F班 (千葉テレビ、いこーよ、テレビ埼玉)																										

レスキュー体験			
実施日時	8/4(土) 12:50-14:15 / 15:30-16:55	ご担当者	海上保安庁 大濱
実施場所	救助体験・・・プール 搬送体験・心肺蘇生体験・・・災害対策室(2F)		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救助展示見学 ・ 各種レスキュー救助体験 		
スケジュール ・ 構成	[前半]	[後半]	[進行プログラム]
	12:30 12:50 13:20 13:30	15:30 16:00 16:10	保安会議室移動 おしごと説明 特殊救難隊による救助展示 各種体験 (15分ずつ) D班 / A班・・・①救助体験 ②搬送体験 ③心肺蘇生体験 E班 / B班・・・①心肺蘇生体験 ②救助体験 ③搬送体験 F班 / C班・・・①搬送体験 ③心肺蘇生体験 ③救助体験 14:15 16:55 終了
	【補足、注意事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水中での体験はないため、着替え不要 ・ 保護者は海保職員案内の場所で見学が可能 ・ プールサイドにドリンク(水)を用意し、1人1本配布 		
グループ分け	12:50-14:15 D,E,F班 (千葉テレビ、いこーよ、テレビ埼玉) 15:30-16:55 A,B,C班 (TOKYO MX、FMヨコハマ、テレビ神奈川)		



水族館のおしごとを学ぶ			
実施日時	8/5(日) 9:30-12:10	ご担当者	京急油壺マリンパーク 石渡
集合場所	入園ゲート (チケット売り場)		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水族館裏側見学ツアー ・イルカ&アシカショー見学 ・昼食・自由時間 		
スケジュール ・ 構成	<p>09:15 到着・チケット渡し</p> <p>09:30 水族館の裏側へ移動 ~ 仕事体験開始 ※保護者はパーク内で自由行動</p> <p>10:30 保護者と合流 ~ 自由時間</p> <p>11:10 昼食 マリンパーク内食堂にて2班に分かれシーフードカレーランチ 11:10-11:40 A,B,C班 11:40-12:10 D,E,F班</p> <p>12:20 出発</p>		
車両関係	バス進入可否：○ バス駐車場有無：有 (2,000円/台 ※要予約) バス乗降場所：駐車場		
グループ分け	①A,B,C班 (TOKYO MX、FMヨコハマ、テレビ神奈川) ②D,E,F班 (千葉テレビ、いこーよ、テレビ埼玉)		

記録写真 - 京急油壺マリンパーク



灯台のおしごとを学ぶ			
実施日時	8/5(日) 13:00-14:20/14:30-15:50	ご担当者	海上保安庁 沖野 不動まゆ
集合場所	城ヶ島灯台公園・城ヶ島京急ホテルまえ海岸		
内容	灯台についての講義、見学		
スケジュール ・ 構成	<p><構成></p> <p>① 不動さんの座学 …灯台内の部屋にて、プロジェクターを使用し、座学を実施(15分程度)</p> <p>② 灯台の上に登って見学 …灯台の明かりについて、灯台の上に登って解説 …解説は、3人ずつをローテーション。他の参加者は灯台上の展望部分で待機 (運営スタッフが落下防止の見張り)</p> <p>③ クロスベアリングで現在地を知ろう！(測位体験) (海岸) …海岸にて、クロスベアリングと海図を使用して、現在地を知るプログラム</p> <p>※到着時に、参加者に対して1人1本ドリンク(スポーツドリンク)配布 ※灯台入口付近では、待ち時間で楽しめるドローンプログラムも予定</p> <p><雨天時の実施場所> ・京急城ヶ島ホテル 2Fレストランで座学実施</p>		
車両関係	バス駐車場：城ヶ島第3駐車場付近 三浦商工会議所エリア バス乗降場所：駐車場		
グループ分け	13:00-14:20 A,B,C班 (TOKYO MX、FMヨコハマ、テレビ神奈川) 14:30-15:50 D,E,F班 (千葉テレビ、いこーよ、テレビ埼玉)		



気象・海象予測体験			
実施日時	8/5(日) 13:00-14:10/14:40-15:50	ご担当者	日本気象環境機関 代表 井出迫義和
集合場所	城ヶ島区民センター		
内容	気象・海象予測に関する講話、観測体験		
スケジュール ・ 構成	<p><構成></p> <p>■<u>天気図の見方レクチャー(15分)</u> 普段、気象予報士が天気、風、波を予想するために使っている 天気図の見方をレクチャー、海風と陸風の話、熱中症の話も。</p> <p>■<u>みんなで予想(20分)</u> メディアごとのグループごとに予想を立てて発表。随時、気象予報士がアドバイス。</p> <p><u>トイレ&給水休憩(5-10分)</u></p> <p>後半の場所へ移動)</p> <p>■<u>海辺の熱中症の危険を知るための観測体験(15分)</u> 海水浴などのビーチレジャーでの熱中症危険度を専用の機材を使って観測する。 地面からの高さの違いや、ビーチパラソルのあるなし、草地、岩場、砂場による違いなどを実測体験。</p> <p>■<u>観測結果のまとめ(10分)</u> グループごとに、熱中症危険度の高い場所、低い場所や、海辺での熱中症リスクを軽減するには どう工夫したらよいかまとめる。 →まとめた結果を翌週のラジオ日本の暑さ予報コーナーで気象予報士が発表する。</p> <p><雨天時> 城ヶ島区民センターにて座学実施</p>		
グループ分け	13:00-14:10 D,E,F班 (千葉テレビ、いこーよ、テレビ埼玉) 14:40-15:50 A,B,C班 (TOKYO MX、FMヨコハマ、テレビ神奈川)		



修了式 ～ 解散

実施日時	8/5(日) 17:00-17:10
集合場所	京急城ヶ島ホテル前 海岸 → 城ヶ島区民センター前の船着き場に変更
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 閉会挨拶 ・ 主催挨拶（日本財団：有川様） ・ 記念撮影
スケジュール ・ 構成	<p>17:00 修了式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閉会の挨拶（司会：HDYSM内海） ・ 主催者挨拶（日本財団：有川様） ・ 記念撮影（海をバックにバナーを持って撮影） ・ 修了証・灯台資料(海保提供)の配布 <p>17:10 解散</p>



メディア露出

媒体名	ひるまえほっと
運営会社	日本放送協会
露出日	2018.8.3
紹介内容	



媒体名	TXNニュース
運営会社	テレビ東京
露出日	2018.8.4

紹介内容



媒体名	京都新聞
運営会社	京都新聞社
露出日	2018.8.23

紹介内容



海のレジャー事故防げ

民間×行政 親子向けに講習会

夏のレジャーでの死亡事故を防ぐと、ライフジャケットを着用するなど正しい知識を伝える取り組みが広がっている。民間団体が行政などと協力し親子を対象に安全に遊ぶための講習会を開催、用品メーカーも普及に力を入れている。

8月初めの週末、橋本市のみなとみらい地区にある「臨海パーク」で、日本財団が主催したイベント「ハーバーフリーデー」が開催された。親子らが、サーフボードの上で立つてパドルと称される講習で「ライフジャケット」や「ミニボート」など入浴のレジャーを楽しむ。参加者は全員、海に出る前にライフジャケットを着用、インストラクターが「万一、転落したときライフジャケットが崩れないように、腰のベルトをしっかり締めよう」と親子さんは最後のベルトも締めて」と指導していた。



海上保安庁横浜海上保安部で、人命救助訓練の様子(手前)を見学する子どもたち=4日、横浜市
 横浜市で開かれた日本財団主催のイベントで、ライフジャケットを着けて海のレジャーを楽しむ参加者ら(提供写真)



ライフジャケットが並ぶメンバー「販売しました店」橋本市

1では、ライフジャケットの有無で死亡率が大きく違う。安全に海を楽しむでもう一つ、必ず着用するよう呼びかけを強めていきたい」としている。

アウトラブ用品大手のモンベル(大阪府)では、ライフジャケットの売り上げが「数年、増加傾向にある」という。販売を勧めたいように工夫したりシナリオを構築している。

「販売しました店」には大人用、子ども用合わせて約10種類のジャケットが並ぶ。価格は5千円台から1万5千円台。同じ担当者も「比較的手軽に扱いやすいので遊泳するシチュエーションでも水中マスク以外にライフジャケットを着用するよう、お客さんに勧めたい」と話す。

海の事故、海水浴に行く人の数が増える傾向にある中、レジャー中の死亡事故は減っていない。

媒体名	河北新報
運営会社	河北新報社
露出日	2018.9.5

紹介内容

ライフジャケット着用など啓発



海上保安庁横浜海上保安部で、人命救助訓練の様子（午前）を見学する子どもたち＝8月4日、横浜市

海のレジャーでの死亡事故を防ごうと、ライフジャケットを着用するなど正しい知識を伝える取り組みが広がっている。民間団体が行政などと協力し親子を対象に安全に海で遊ぶための講習会を開催、用品メーカーも普及に力を入れている。

海のレジャー事故防ごう

官民協力 親子向け講習会
用品メーカーが普及に力



8月初めの週末、横浜市のみなとみらい地区にある「臨港パーク」で、日本財団が主催したイベント「ハーバーフリーデー」が開かれた。参加親子がサーフボードの上に立ってパドルと呼ばれる器具で「スタンドアップパドルサーフィン」や、カヌー、ミニボートなど人気のレジャーを楽しんだ。

参加者は全員、海に出る前にライフジャケットを着用。インストラクターが「万が一、転落したときにジャケットが脱げないよう、腰のベルトをしっかりと締めてください。お子さんは股のベルトも締め」と指導していた。

8歳の息子と参加した横浜市内の40代の女性は「子どもと海のレジャーによく行く。ライフジャケットは使ったことがあっても、正しい着用方法を教えてもらって良かった」と話していた。

日本財団の担当者は「海のレジャーは、安全に楽しむことが大切。ライフジャケットは、命を守るための大切なアイテムです。正しい着用方法を覚えてもらって、安全に海を楽しんでほしい」と話している。

「横浜しんやました店」には、大人用、子ども用合わせて約20種類のジャケットが並ぶ。価格は5000円台から1万3000円台。同社担当者は「比較的手軽に浅い海面で遊ぶためのジャケットも、水中マスクに加えてライフジャケットを着用するよう、お客さんに勧めている」と話す。



ライフジャケットが並ぶモンベル「横浜しんやました店」＝横浜市

海の事故 海水浴に行く人の数が減少傾向にある半面、レジャー中の死亡事故は減っていない